

令和 8 年 4 月 7 日

東御市議会議長
山崎 康一 様

会 派 名 東翔の会
代表者氏名 田中 信寿

令和 7 年度 政務活動費収支報告書

東御市議会政務活動費の交付に関する規則第 7 条の規定により、下記のとおり、
令和 7 年度 政務活動費収支報告書を提出します。

記

交付金額	600,000	円
支出金額	331,336	円
差引金額	268,664	円

(支出の内訳) (単位：円)

科 目	決 算 額	政務活動費充当額	説 明
調 査 研 究 費	301,261	301,261	
研 修 費			
広 報 費			
広 聴 費			
要望・陳情活動費			
会 議 費			
資 料 作 成 費			
資 料 購 入 費	30,075	30,075	市議会会議録代
人 件 費			
事 務 所 費			
計	331,336	331,336	

(実施事業)

事 業 名	事 業 内 容
視察研修・資料購入	視察研修・定例会会議録購入

政務活動記録簿

会派名	東翔の会
事業名	議会会派行政視察【栃木県矢板市・鹿沼市】
実施日	令和7年4月21日（月）～23日（水）
参加議員	田中信寿、大塚博文、瀬田智之、小林祐一、大谷真宙

1 東御市における課題と研修・調査の目的

- ①現在、東御市では湯の丸高原を中心にスポーツツーリズムの発展に取り組んでいる。サッカーのまちとして全国的なブランド力を持つ栃木県矢板市の取り組みを関係者からヒアリングすることでスポーツツーリズムへの知見を高めたい。
- ②同市に新築された文化複合スポーツ施設を視察することで将来、東御市において公共施設の統合および建替を検討する際の知見を得たい。
- ③25年の火災では住宅火災のうち、数件で消防ホースの老朽化による水漏れのトラブルが発生した。鹿沼市には全国から受注があるホースメーカーおよび消防車のメーカーがあり、消防機器・機材の知見を高めるために視察をした。

2 経 費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○)	交通費・宿泊費等	草軽観光支払・レンタカー・燃料代	259,555
調査研究費	視察先謝礼	視察先土産代	6,706
研修費	入館料	矢板市文化スポーツ複合施設見学科	2,000
広報費	日当	2,200円×3日×5人	33,000
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合 計			301,261

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

実施日時	令和7年4月21日（月）午後10時30分～午後13時30分
視察場所及び 部局等	矢板市文化スポーツ複合施設
視察事項	スポーツツーリズムの取り組み。 東御市において公共施設の統合および建替の先進事例の視察
報告 内 容	（１）視察先概要 ■矢板市概要 矢板市は栃木県北東部に位置する人口3,0412人（令和6年4月1日現在）の自治体である。昭和55年に栃木県で初めて開催された国体で、少年サッカーの会場となったことをきっかけに「サッカーのまち」として発展。 ■矢板市のスポーツツーリズム 栃木県内初となる「矢板スポーツコミッション」を設立。スポーツツーリズムにおける取組に力を入れており、令和5年度のスポーツ交流人口は12万3,897人、経済効果は11億8,602万円とのこと。 ■文化スポーツ複合施設 台風19号で文化会館が被災したことを契機に体育館機能と文化会館機能を複合化し建設した施設（文化スポーツ複合施設）。大規模工場跡地を活用し、スポーツ専用アリーナーとコンサート・講演会などでも使用できる多目的アリーナを有している。 （２）視察事項について ・文化スポーツ複合施設の見学 ・矢板市におけるスポーツツーリズムについてヒアリング （３）所感・市政に活かせること ・矢板スポーツコミッションは「スポーツを通じて交流人口の増加、経済効果の拡大」を目的としスポーツ大会の開催やオーダーメイド型の合宿支援のほか、矢板市に来訪する団体への補助金制度を設定している。また、経済効果が算出されており費用対効果の評価基準が明確である。 アドバイザーとして参画しているJTBと矢板市は連携協定を結び、スポーツ交流人口の増加に向けた取り組みを行っているが、きっかけは「地方創生アドバイザー制度」でJTB社員が矢板市と関わりを持ったこととのこと。 ・文化スポーツ複合施設については令和6年度58,801人が利用。スポーツ利用だけでなく、カラオケ大会やNHKのど自慢大会の会場としても利用。音響に課題があり、体育と文化の機能を両立させる難しさがわかった。2階部には筋力トレーニングジムのスペースを設けてるほか、アリーナー外周を囲うように室内ランニングコースが設けられていた。また、施設には段差がほぼなかったほか、前述のランニングコースでは視覚障害者でも走れるための設備を設置しており、障がい者でもスポーツに親しめる施設づくりを行っていた。

(視察先の写真等がある場合は添付)



矢板市文化複合スポーツ施設視察の様子



左 視覚障害者のランニングを助けるためのガイド設備の説明を受ける
右 段差がないためテープで上履と下履の着用ラインを表示。

3 実施概要 （視察箇所ごとに記載）

(No. 2)

実施日時	令和7年4月22日（火）午前10時30分～午後12時00分
視察場所及び 部局等	帝国繊維株式会社 鹿沼工場
視察事項	ホース製造の知見と耐用年数および管理方法
報 告 内 容	（１）視察先概要 ・帝国繊維株式会社は日本初の亜麻製消防ホースを製造した会社であり、現在も全国有数の消防ホースメーカーである。 今回は鹿沼市にあるホース製造工場を見学し、製造工程の見学と質疑を行った。
	（２）視察事項について ・ホース製造工程について ・ホースのメーカー耐用年数について ・ホースの保管方法について
	（３）所感・市政に活かせること ・帝国繊維での見学により消防ホースのメーカー想定耐用年数は8年 ・ホースを巻いて保管する場合には、きつく巻き締めるのではなく、緩く巻いての保管とのこと。 ・実際にはメーカー耐用年数を超えるホースが市内各地の格納箱にある。 消火活動の際に、漏水するホースがないよう、および消防団と地域住民による適切な保管管理と通水試験も含めた定期点検活動を行う仕組みづくりが大切であると考えている。

(視察先の写真等がある場合は添付)



帝国繊維株式会社鹿沼工場 見学の様子



帝国繊維株式会社鹿沼工場での記念写真

3 実施概要 （視察箇所ごとに記載）

(No.3)

実施日時	令和7年4月22日（火）午後13時30分～午後15時00分
視察場所及び 部局等	株式会社ジーエムいちはら工業株式会社
視察事項	消防自動車メーカー製造現場の見学
報 告 内 容	（１）視察先概要 ・株式会社ジーエムいちはら工業株式会社は消防用特殊車両の製造を行っている国内屈指の企業。市販自動車メーカーより車台を購入し、板金・組立・塗装・電装を経て各種消防車両を自治体等に納車している。年間製造台数は50台。 なお、東御市消防団にも水槽車の納車実績がある。 （２）視察事項について ①消防自動車の製造の見学 ②全国的にも特異な利用を目的に製造される車両についてヒアリング （３）所感・市政に活かせること ・消防自動車という自動車生産全体からみるとごく限られた需要のため、市販メーカーからの供給が不十分で、受注から納品まで2年かかっているのとのこと。 ・地元鹿沼市消防団からは消火活動時における団員のトイレ場所の確保のために「トイレカー」の要望があり、納品前の完成品を視察した。GMいちはら工業としては、オーダーメイドが基本で常備消防および消防団からの個別仕様にも応えているとのこと。東御市でも今後消防用特殊車両を調達する場合においては、現場で得られた課題・改善点を踏まえたものを仕様に盛り込むことで消防能力の向上を図ることができると考えた。

(視察先の写真等がある場合は添付)



GMいちはら工業株式会社の見学の様子



GMいちはら工業株式会社内での記念写真

政務活動記録簿

会派名	東翔の会
事業名	東御市議会定例会等会議録購入
実施日	
参加議員	田中信寿 大谷真宙 瀬田智之 大塚博文 小林祐一

1 東御市における課題と研修・調査の目的

議場内における議案の採決に至るまでの経過や議論された内容等について、会派内議員の正確な情報共有を図るため、東御市議会定例会等の会議録を購入する。

2 経 費

使途項目	経費の内容と内訳		金 額 (円)
(該当項目に○)	市議会会議録購入代	3月定例会 会議録	9,840
	〃	6月定例会 会議録	6,570
調査研究費	〃	9月定例会 会議録	6,870
研 修 費		12月定例会 会議録	6,795
広 報 費			
広 聴 費			
要請・陳情活動費			
会 議 費			
資料作成費			
資料購入費			
人 件 費			
事 務 所 費			
合 計			30,075

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと